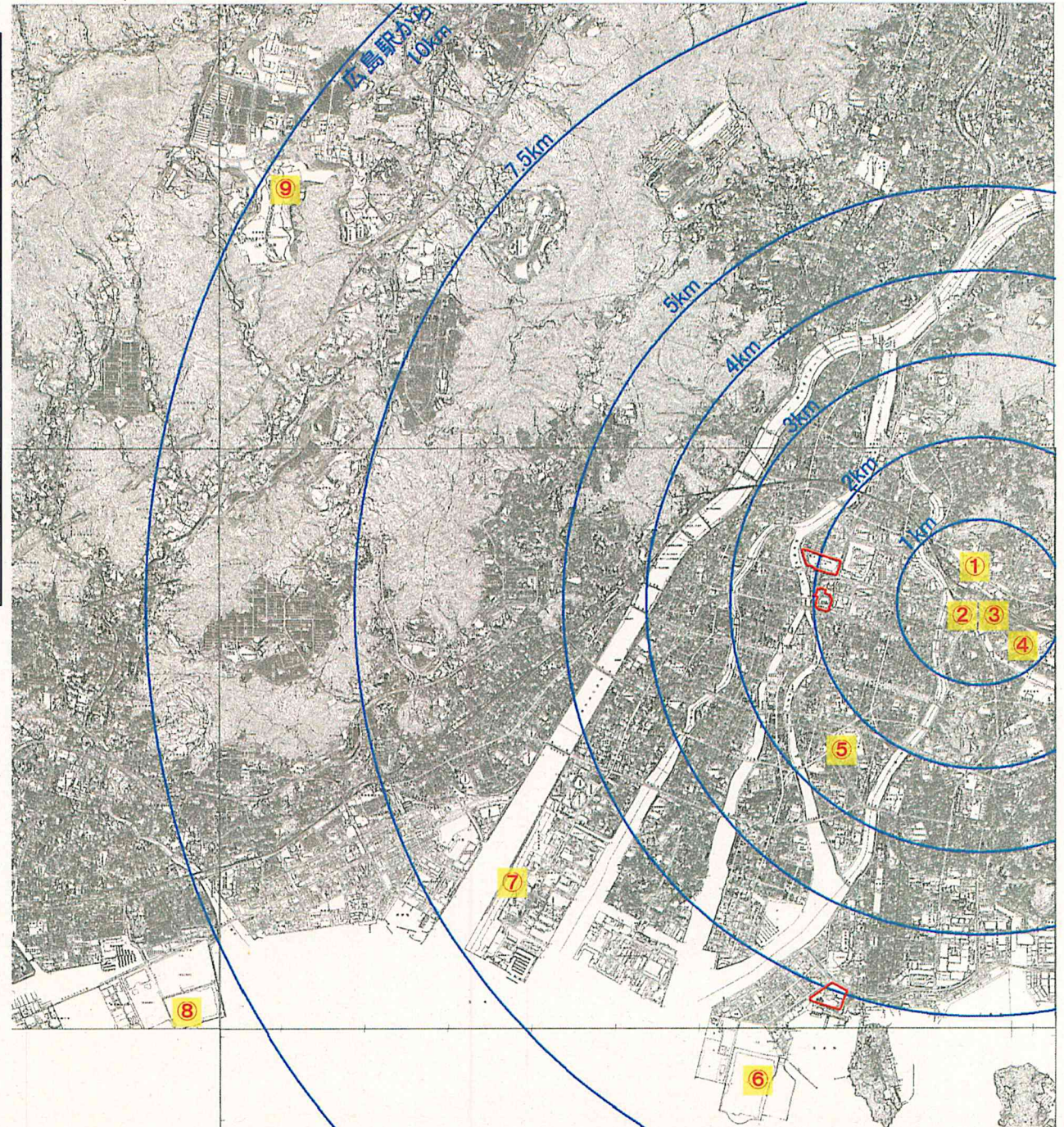


■広島市周辺開発の状況

番号	場所名	規模	用途	供用開始
①	東区二葉の里	約11ha	・住宅 ・事務所 ・商業施設 ・医療拠点 ・バスターミナル ・ホテル	平成25年度より順次供用 (民間事業者により一部不明)
②	広島駅南口 Bブロック	1.4ha	・住宅 ・商業施設 ・事務所	平成28年度
③	広島駅南口 Cブロック	1.9ha	・住宅 ・商業施設	平成28年度
④	広島ボール パークタウン	1.8ha	・屋内練習場 ・結婚式場 ・住宅	平成26年～平成27年度
⑤	広島大学跡地	3.8ha	・住宅 ・病院 ・商業施設 ・学生向け施設	平成27年～平成30年
⑥	宇品・出島地区	約100ha	・緑地 ・港湾関連用地 ・交流厚生用地	未定(基本方針あり)
⑦	西飛行場跡地	約40ha	未定	未定(基本方針あり)
⑧	五日市埋立地	約61ha	・緑地 ・工業用地 ・港湾関連用地	未定
⑨	西風新都	—	・住宅 ・工業用地 ・商業用地	石内地区 平成27年 梶毛地区 未定

資料：広島県、広島市提供資料又はHP、UR都市機構HP



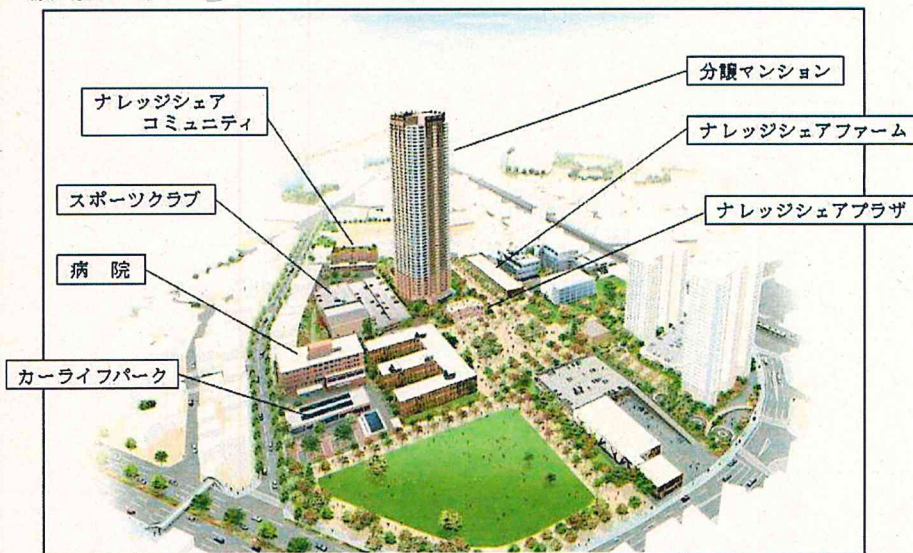
Hiroshima Ball Park Town



▲広島ボールパークタウン全体計画 抜粋 (④)

資料：広島市 HP

《外観パース》

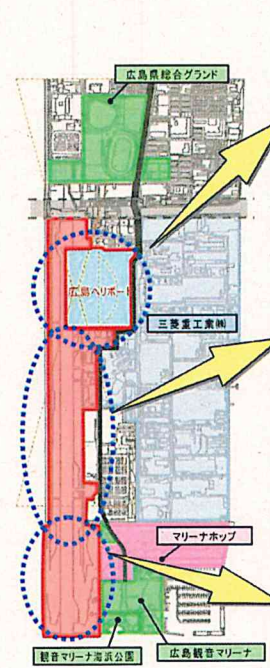


▲広島大学跡地外観イメージ (⑤)

資料：広島市 HP



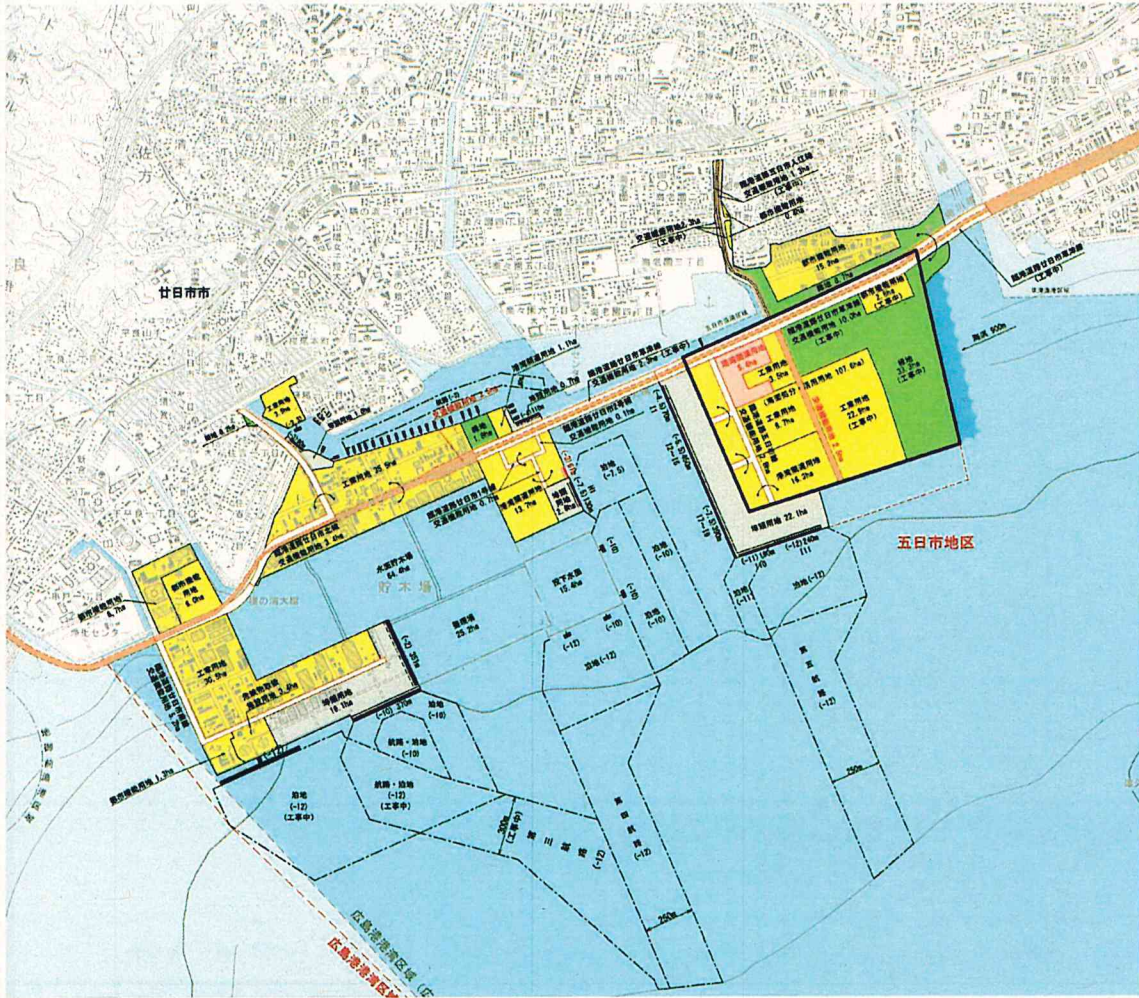
▲広島港湾湾計画図 出島地区周辺 (⑥)



▲広島西飛行場跡地活用ビジョン 素案 (⑦)

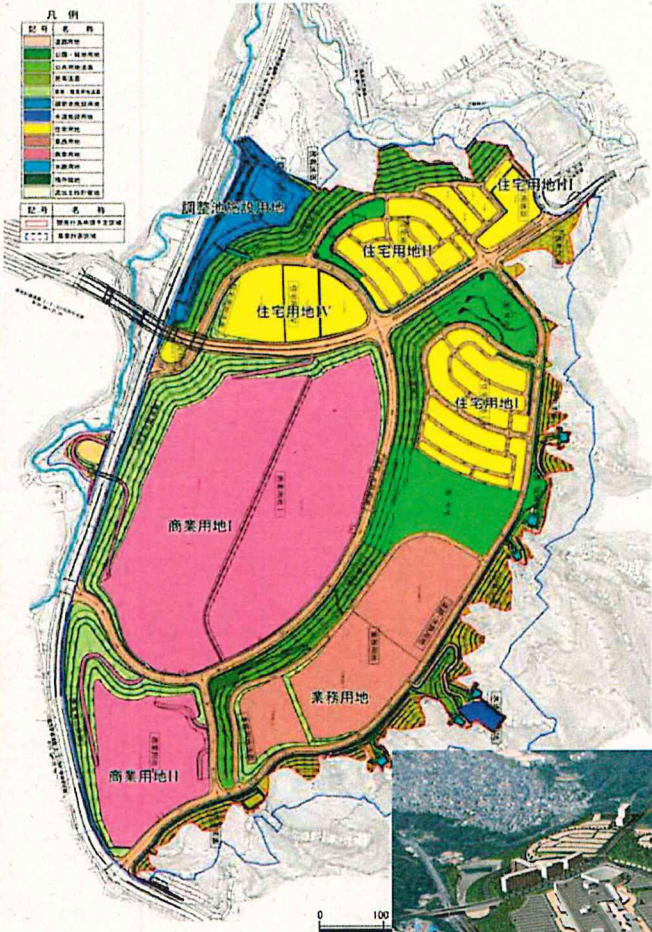
資料：広島市 HP

場所	機能	機能配置の考え方
↑ ヘリポート側	広域防災	●広島ヘリポートは災害時の消防拠点・輸送拠点であり、また、被災地域へのヘリコプターによる支援活動の拠点であること
中 間	スポーツ・レクリエーション	●南北に長い跡地の中でも、北側の既成市街地に近く、周辺のスポーツ関連施設(広島県総合グラウンド、観音マリーナ等)と連携しやすい位置にあること
		●隣接するヘリポートからの騒音に対するバッファゾーン(緩衝帯)としての役割を担えること
		●ヘリポートが防災機能を発揮する災害時には、防災的な用途に転換しやすい機能であること
南 側	新たな産業(雇用、にぎわい)	●航空法による制限表面により建築物の高さが制限される区域があるが、こうした制限が支障となりにくい機能であること
		●雇用やにぎわいを創出する集客のある機能は、ヘリポートと一定の距離を隔てること望ましいこと
		●マリナホップや観音マリーナと一体となったにぎわいづくりが期待できること
		●瀬戸内海を望む美しい景観を活用できる機能の配置が望ましいこと



▲広島湾港湾計画図 五日市地区周辺 (8)

【土地利用計画図】



▲西風新都 石内東地区 土地利用計画図 (9) 広島市 HP 環境影響評価書

